

ICT 教材・機器 活用事例

学部	小学部	学年・グループ	3年	教科	国語・自立活動
授業名(単元名)		国語・自立活動(あそび)			

①ICT を活用した個別最適な学び

活用場面	活用方法	子どもの様子(成果・課題等)
○国語	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の授業において、ひらがな一覧表をモニターに提示して縦読み、横読みを繰り返し行った。 ・電子黒板に児童が考えた拗音や半濁音の入った単語をひらがなで書いたり、伝言ゲームで聞き取った単語を書いたりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し課題に取り組むことで、少しずつ音と形が一致するひらがなが増えてきた。 ・電子黒板への書字は、電子黒板を使いたい気持ちが書いてみようという気持ちへと繋がり、ひらがな表を見ながら自分で書こうとする姿が見られた。
○自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ・あそびの時間に1人1台 iPad の音声アシスタント機能を使用して、自分の興味のある内容について検索をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声アシスタント機能では、不明瞭な発音では検索ができないため、ゆっくり丁寧に発音することや、文字の認識の間違いに気づくことができた。

②実践を振り返って

【工夫した点】

自分からすすんで1人1台 iPad を使用できる環境の整備をした。

【活用の成果】

上記の通り

【今後に向けた課題】

- ・繰り返しの活動を行うことで、よりひらがなの音と形を一致させて理解が深まるように継続して指導する必要がある。
- ・学習面での1人1台 iPad の有効的な活用方法について。
- ・教員が日常生活において積極的に ICT 機器を活用していく必要がある。

